

J R 東海 労申第 2 4 号  
2 0 2 0 年 2 月 1 7 日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働組合  
中央執行委員長 木下 和樹

## 「新型コロナウイルス」感染防止に関する追加申し入れ（2）

マスコミ報道によると、東京都が2月15日、新たに新型コロナウイルスに感染したことが確認された40歳代の会社員が、2月10日に愛知県に出張のため、東海道新幹線を利用していたことが発表されている。

以前にも、新型コロナウイルスに感染していたバスガイドが東海道新幹線を利用していたことの報道もされている。

新型コロナウイルスの感染者は、タクシーの運転手、バスの運転手など、不特定多数の人々と接する仕事をしており、同じ公共交通機関で働く私たち J R 東海の社員はより多くの旅客等と接しており相対的に新型コロナウイルスに感染するリスクは非常に高いと考える。

会社は、もっと危機感を持って社員が新型コロナウイルスに感染しないように、国の対応を待つことなく、より積極的に模範となるような感染予防に努めるべきである。

従って、下記の通り申し入れるので、誠意ある回答をすること。

### 記

1. 2月10日に東海道新幹線を利用したという40歳代の会社員の乗車列車・乗車区間・利用座席・駅構内の通行ルート等を明らかにすること。
2. ウイルスに感染していた会社員が、当日に利用していたエリアで就業していた社員・関連会社の社員に接触の可能性について告知すると共に緊急のウイルス検査を、会社の責任に於いて早急に実施すること。
3. 以前、報道されていた「新型コロナウイルス」に感染していたとされるバスガイドと言われる方が、東海道新幹線を利用していたとのことであるが、会社は、この方の乗車区間等について明らかにすること。
4. 上記以外で、「新型コロナウイルス」に感染もしくは感染していた可能性がある旅客が、J R 東海の新幹線・在来線を利用していた情報があるのか明らかにすること。

こと。

5. 車内業務で多くの不特定多数のお客様と接する機会の多い対面改札については、新型コロナウイルスのリスクが解消されるまでは、在来線・新幹線共に中止すること。
6. 数日前から各職場では、「東京駅で就業する人物が肺炎で入院している。」との噂が囁かれているが、それは事実なのか明らかにすること。また、事実であるなら「新型コロナウイルス」に由来する入院なのか明らかにすると共に、東京駅で働く全社員・関連会社社員へウイルス検査を、会社の責任に於いて早急を実施すること。
7. 全社員・関連社員へのマスク着用を義務づけること。
8. マスク着用について、各職場で「懲憑」や「指示」など統一されていないため、誤解をしている社員がいるので、会社として統一した指示をすること。
9. 社員が体調不良等を訴え、「新型コロナウイルス」に感染が懸念される場合は、会社の責任に於いて有給の休業とすると同時に、早急に検査を受けさせること。また、感染が確認された時は、障害休暇とすること。
10. 先日、申第21号での緊急申し入れで社員が「新型コロナウイルス」に感染した場合の対応方、賃金などについての会社回答で、「社員への感染が確認された場合には、状況に応じて適切に対応を行う。」とのことであったが、その後、何か詳細な取り扱いが決まったのか明らかにすること。

以 上